

放課後等デイサービス支援員の実践力向上研修（基礎基本編）

～ 行動問題への対処をつくる ～



右のQRコードから
左のページの表示を
お願いします。

まかろんキッズ R5.7.11



サンクスシェア
代表社員 田中 聡



望ましい行動を身に付けさせる

ステップ ①

- ① 行動問題の発生を回避する支援力

状況と時期の適切な見立て



ステップ ②

- ② 望ましい行動を身に付けさせる

望ましい行動を身に付けさせる

A (状況)

店でほしいものをみつける



B (行動)

「買って～」と
大声で泣き叫ぶ



C (結果)

ほしいものが
手に入る

【3つのポイント】

レベルⅠ

『A』の状況をつくらない

レベルⅡ

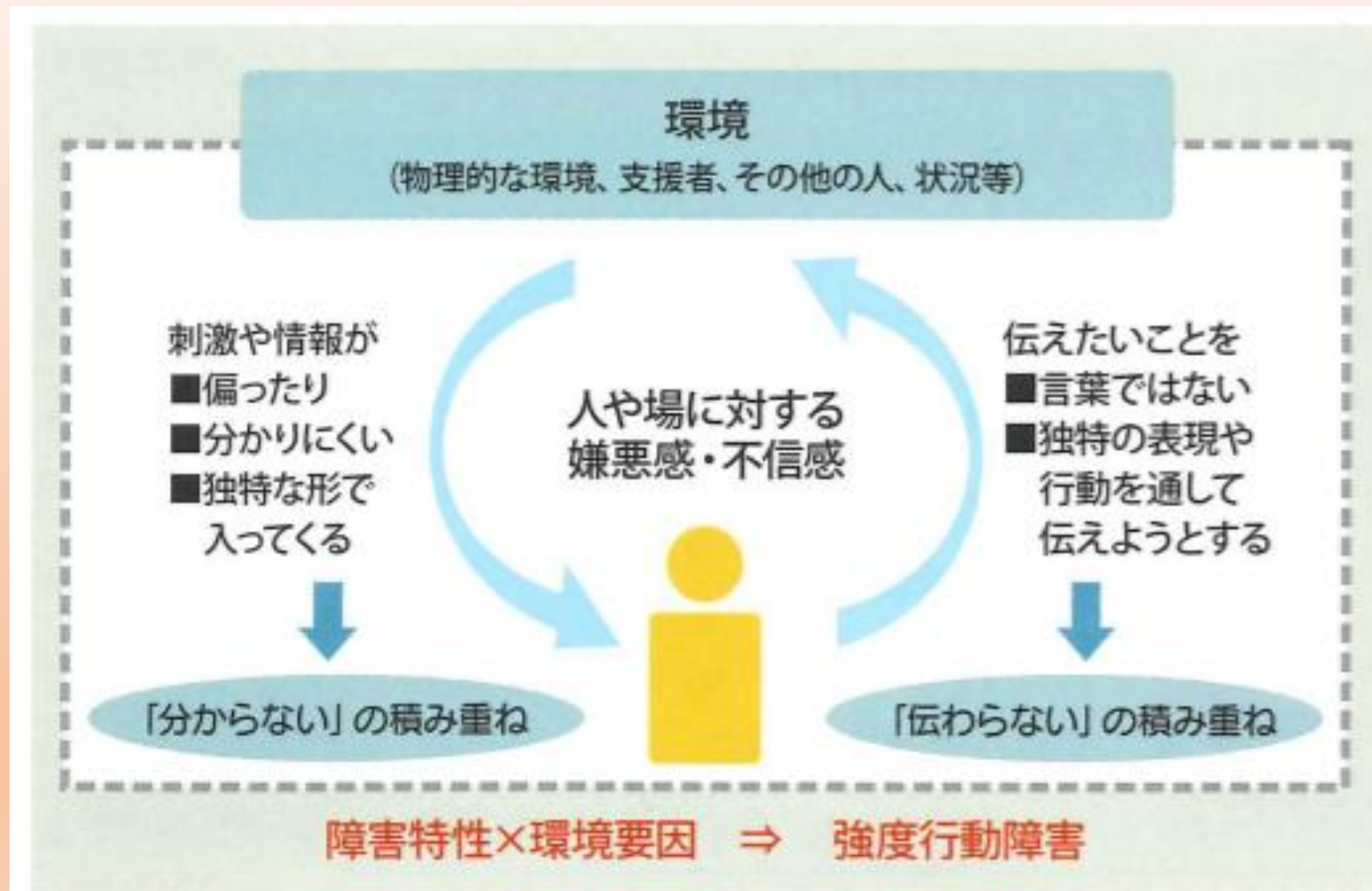
『B』の行動を変える

代わりに行動をつくる

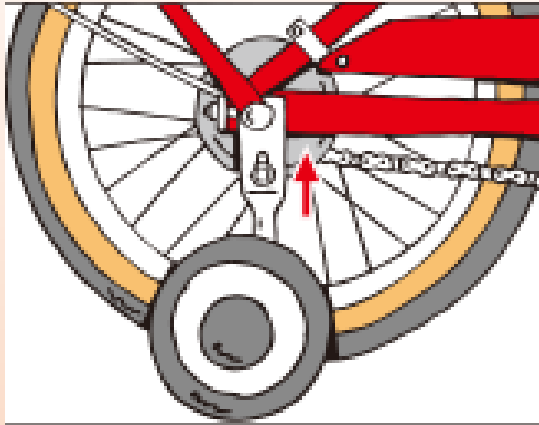
レベルⅢ

『C』の結果を与えない

なぜ強度行動障害になるのか？

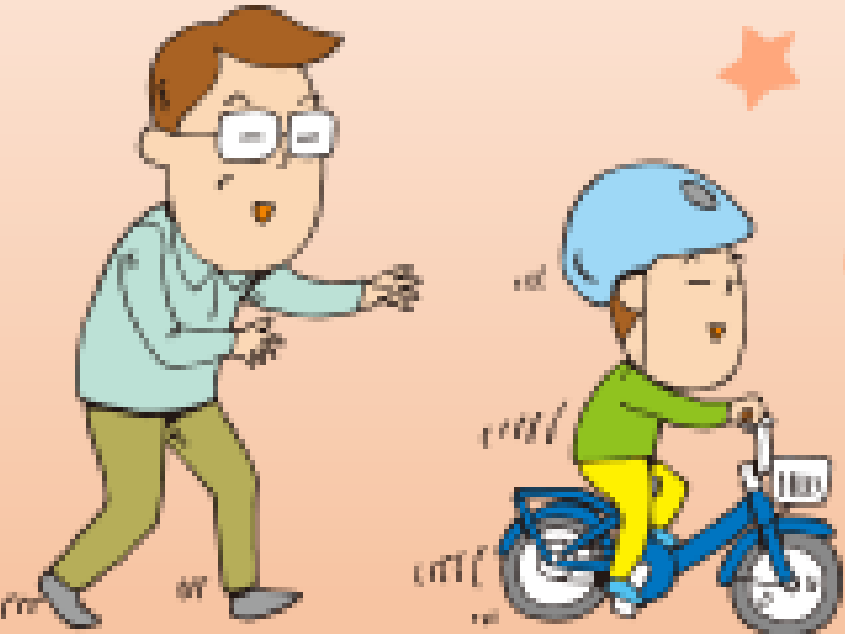
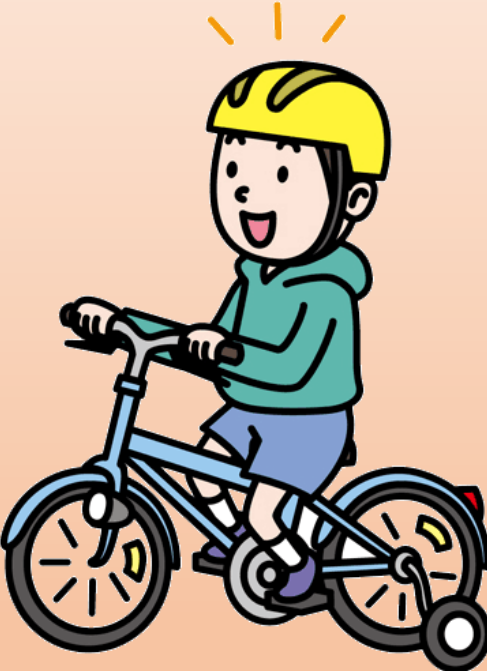


支援とは



ひとりでできる

支援 = 補助輪
つけ



支援の量

③ 相互コミュニケーションスキルを身につける

現状

空



【事実】
空が
曇ってる

空をみつけた

影響
課題

雨



【解釈】
雨が降り
そうだ

雨を考える

打ち
手

傘



【行動】
傘を持って
いこう

傘を考える

③ 相互コミュニケーションスキルを身につける

「空」「雨」「傘」の具体例 その1

現状

空



【事実】
空が
曇ってる

自由遊び時間。自由時間の終わりまでには、あと15分。

A児が楽しくジグソーパズルを使って遊んでいる。

本人の排泄記録表を見ると、トイレに行ってから25分経過していることがわかった。

(A児は、30分経過すると膀胱の障がいのため、尿失禁する可能性がある)

③ 相互コミュニケーションスキルを身につける

「空」「雨」「傘」の具体例 その1

影響
課題

雨



【解釈】
雨が降り
そうだ

このまま時間が経過すると
遊びに夢中になっているA児は、
失禁して下着などを汚す
かもしれない・・・

③ 相互コミュニケーションスキルを身につける

「空」「雨」「傘」の具体例 その1

打ち手



【行動】
傘を持って
いこう

5分にセットしたキッチンタイマーを持参してきて、

本人に提示し、

「このタイマーの音が鳴ったらトイレに行こうね。」

と声掛けをする。

② 行動問題が起こらない環境設定をする

宿題時の飛び出し！

- ① 順調に宿題（ローマ字の読み書き）を開始
- ② 「教えて～！」 Aスタッフが対応
 - ・ローマ字表を持ってくる
 - ・ホワイトボードを持ってくる
 - ・他の児童から呼ばれて、本人から離れる
- ③ 宿題を紙吹雪状にびりびりと破る
- ④ Aスタッフ、Bスタッフが制止する ➡ 施設を飛び出し！

【行動問題を起こした本人の思い・考え】

「（まわりが）うるさい」

「ローマ字が苦手、わからん！」

「写す作業もわからん！ 疲れる・・・」

「サクサク教えてほしい。ペースが合わん！」

「（先に友だちが終わったのを見て）あせった！」

「（Aスタッフが離れて）いつ帰ってくるかわからん！」

② 行動問題が起こらない環境設定をする（防ぐ①）

「もの」 ・・・ものを使って環境そのものをコントロールする

例：壁向きに配置した机で学習する

「ひと」 ・・・いわゆる誰が対応するか 人による対応の仕方

例：重要なルールをインプットしてほしい時、管理者に話をしてもらう

「こと①」 ・・・活動内容やイベントのコントロール

例：「今日のおやつコーナー」などスケジュールボードの提示をする

「こと②」 ・・・空間・場所のコントロール

例：学習やおやつの時間に座る席を指定する

「こと③」 ・・・時間帯や時間の長さ、順序などのコントロール

例：本人合わせた、時間入りのスケジュール表を準備する

見える

見えない

② 行動問題が起こらない環境設定をする

宿題時の飛び出し！

	もの	ひと	こと
本人	<ul style="list-style-type: none">・ 落ち着いて学習できる環境として仕切りがある机を準備・ 小文字が載っているローマ字表を準備・ 模写サポート道具の準備（ホワイトボード、模写台など）	<ul style="list-style-type: none">・ 本人及びその場から離れる際の本人への声かけの工夫・ 本人を待たせる際の明確な指示の工夫（時間指定など）	<ul style="list-style-type: none">・ できる範囲で「自立的」な行動を促す基本的姿勢をスタッフ間で共通確認する。
まわり	<ul style="list-style-type: none">・ 3人に1人以上のスタッフ配置・ 児童を迎える事前準備の徹底	<ul style="list-style-type: none">・ 宿題が早く終わった子への適切な声かけの工夫	<ul style="list-style-type: none">・ 事業所へ到着後の動線誘導の再確認・ 送迎車内での事前声かけの工夫・ 当日の支援に関わるミーティングの充実